

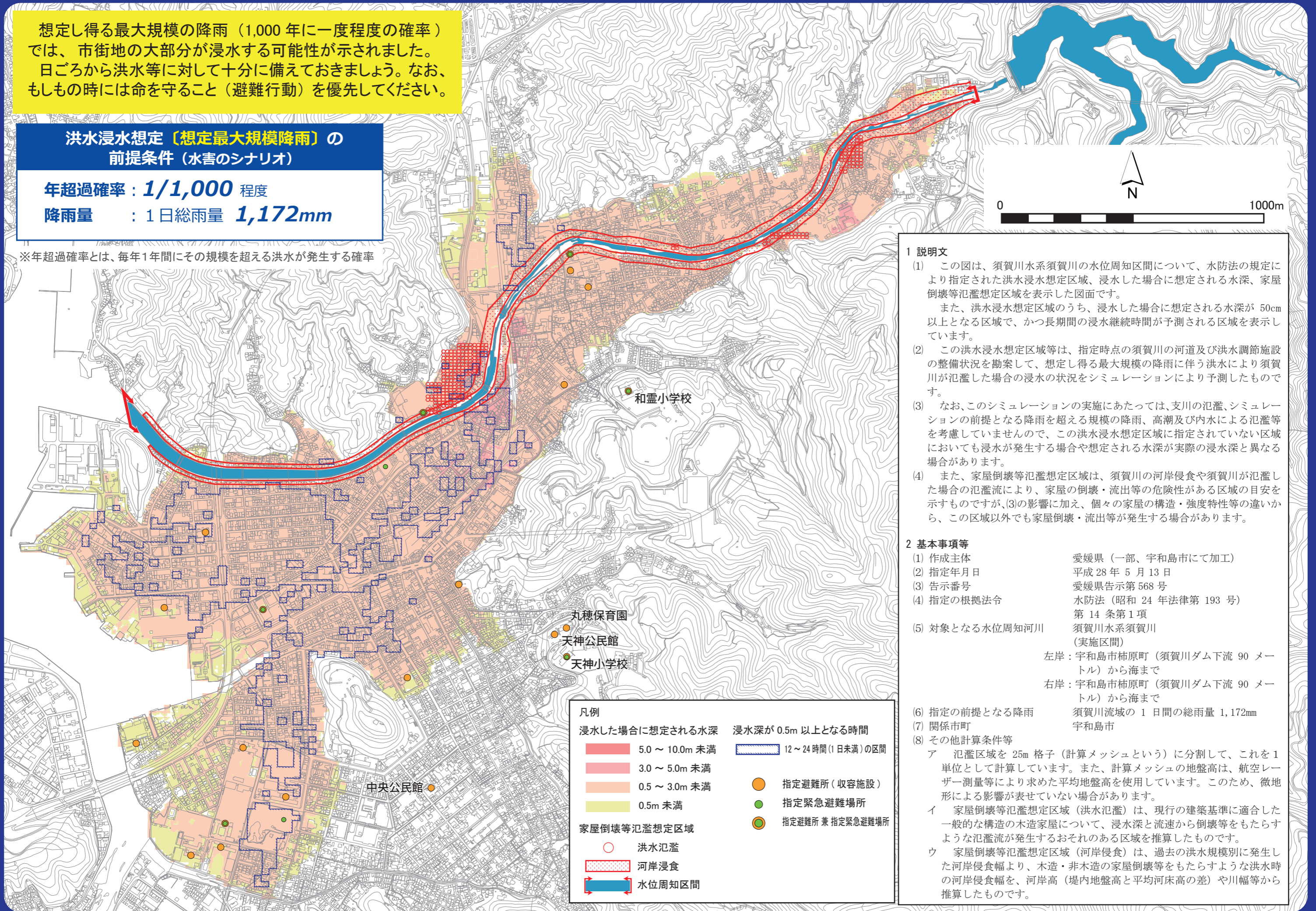
須賀川 洪水浸水想定区域図〔想定最大規模降雨〕

想定し得る最大規模の降雨（1,000年に一度程度の確率）では、市街地の大部分が浸水する可能性が示されました。日ごろから洪水等に対して十分に備えておきましょう。なお、もしもの時には命を守ること（避難行動）を優先してください。

洪水浸水想定〔想定最大規模降雨〕の前提条件（水害のシナリオ）

年超過確率：1/1,000 程度
降雨量：1日総雨量 1,172mm

※年超過確率とは、毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率



1 説明文

- この図は、須賀川水系須賀川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深、家屋倒壊等氾濫想定区域を表示した図面です。
また、洪水浸水想定区域のうち、浸水した場合に想定される水深が50cm以上となる区域で、かつ長期間の浸水継続時間が予測される区域を表示しています。
- この洪水浸水想定区域等は、指定時点の須賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により須賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、須賀川の河岸侵食や須賀川が氾濫した場合の氾濫流により、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、(3)の影響に加え、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域以外でも家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

2 基本事項等

- 作成主体 愛媛県（一部、宇和島市にて加工）
- 指定年月日 平成28年5月13日
- 告示番号 愛媛県告示第568号
- 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
- 対象となる水位周知河川 須賀川水系須賀川（実施区間）
左岸：宇和島市柿原町（須賀川ダム下流90メートル）から海まで
右岸：宇和島市柿原町（須賀川ダム下流90メートル）から海まで
- 指定の前提となる降雨 須賀川流域の1日間の総雨量1,172mm
- 関係市町 宇和島市
- その他計算条件等
ア 氾濫区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
イ 家屋倒壊等氾濫想定区域（洪水氾濫）は、現行の建築基準に適合した一般的な構造の木造家屋について、浸水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域を推算したものです。
ウ 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）は、過去の洪水規模別に発生した河岸侵食幅より、木造・非木造の家屋倒壊等をもたらすような洪水時の河岸侵食幅を、河岸高（堤内地盤高と平均河床高の差）や川幅等から推算したものです。

凡例	
浸水した場合に想定される水深	浸水深が0.5m以上となる時間
5.0～10.0m未満	12～24時間（1日未満）の区間
3.0～5.0m未満	指定避難所（収容施設）
0.5～3.0m未満	指定緊急避難場所
0.5m未満	指定避難所兼指定緊急避難場所
家屋倒壊等氾濫想定区域	
○ 洪水氾濫	
▨ 河岸侵食	
↔ 水位周知区間	